Nikon

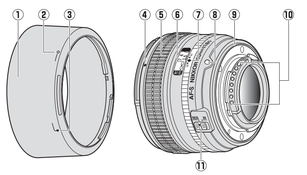
NIKKOR

AF-S NIKKOR 50mm f/1.8G (Special Edition)

Jp 使用説明書
En User's Manual
Fr Manuel d'utilisation
Es Manual del usuario
Sc 使用说明书
Pb Manual do usuário
Kr 사용설명서

Printed in Japan
5B3G01(7C)
7MAA967C-01▲G13

NIKON CORPORATION



☒/Figure/Figure/Imagen

日本語

このたびはニッコールレンズをお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、カメラの使用説明書もご覧ください。
• DX フォーマットのニコンデジタル一眼レフカメラ（D7100、D5200 など）に装着すると、対角線画角は 31° 30′ となり、35 mm 判換算では焦点距離約 75 mm 相当のレンズになります。

■ 安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用し、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

△ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

○ 記号は、禁止の行為（してはいけないこと）を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は、行為を強制することを告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はバッテリーを取り出す）が描かれています。

⚠ 警告

分解禁止 — **分解したり、修理や改造をしないこと**
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

接触禁止 — **落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと**
感電したり、破損部でケガをする原因となります。カメラのバッテリー、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

すぐに修理依頼 — **熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかにカメラのバッテリーを取り出すこと**
そのまま使用するとやけど、火災、やけどの原因となります。バッテリーを取り出す際、やけどに充分注意してください。バッテリーを抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

すぐに修理依頼 — **水にぬれたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと**
発火したり感電の原因となります。

使用禁止 — **引火・爆発のおそれのある場所では使わない**
プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

使用禁止 — **レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと**
失明や視力障害の原因となります。

⚠ 注意

感電注意 — **ぬれた手でさわらないこと**
感電の原因になることがあります。

保管注意 — **製品は、幼児の手の届くところに置かない**
ケガの原因になることがあります。

使用注意 — **逆光撮影では、太陽を画角から充分にずらすこと**
太陽光がカメラ内部で焦点を結び、火災の原因になることがあります。画角から太陽をわずかに外して もし火の原因になることがあります。

保管注意 — **使用しないときは、レンズにキャップを付けるか、太陽光のあたらない所に保管すること**
太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

移動注意 — **三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しないこと**
転倒したりぶつけたりして、ケガの原因になることがあります。

放置禁止 — **窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない**
故障や火災の原因になることがあります。

■ 各部の名称（図）

① フード
② フードセット指標
③ フード取り付け指標
④ フード着脱指標
⑤ フォーカスリング
⑥ 距離目盛
⑦ 距離目盛基準線
⑧ レンズ着脱指標
⑨ レンズマウントゴムリング
⑩ CPU（信号接点）
⑪ フォーカスモード切り換えスイッチ

■ 使用できる機能

カメラによって、使用できる機能には制限・制約がありますので、カメラの使用説明書でもご確認ください。

カメラ	露出（撮影）モード				AF[※3]
	P[※1,2]	S	A	M	
FX フォーマット /DX フォーマットのニコンデジタル一眼レフカメラ	○	○	○	○	○
F6、F5、F100、F80 シリーズ、ニコン U2、ニコン U、プロネア 600i、プロネア S[※1]	○	○	○	○	○
F4 シリーズ、F90X シリーズ、F90 シリーズ、F70D	○	○	×[※4]	×	○
ニコン U5、F60D、F50D、F-401 シリーズ	○	○	○	○	×
F-801 シリーズ、F-601M	○	○	×	×	×
F3AF、F-601、F-501、MF カメラ（F-601M を除く）	×	×	×	×	×

※ 1　M モードの設定はありません。
※ 2　P には AUTO（オート）モード、シーンモード（イメージプログラムモード）を含みます。
※ 3　AF：オートフォーカス

■ ピント合わせの方法

ご使用のカメラや撮影目的によって、下表のようなピント合わせが選択できます。
• カメラのフォーカスモードについては、カメラの使用説明書をご覧ください。

カメラ	カメラのフォーカスモード	レンズのフォーカスモード	
		M/A	M
FX フォーマット /DX フォーマットのニコンデジタル一眼レフカメラ、F6、F5、F4 シリーズ、F100、F90X シリーズ、F90 シリーズ、F80 シリーズ、F70D、ニコン U2、ニコン U、プロネア 600i、プロネア S	AF	マニュアル優先オートフォーカス	マニュアルフォーカス（フォーカスエイド可）
	MF	マニュアルフォーカス（フォーカスエイド可）	
ニコン U5、F60D、F50D、F-801 シリーズ、F-401 シリーズ、F-601M	AF MF	マニュアルフォーカス（F-601M を除きフォーカスエイド可）	

M/A（マニュアル優先オートフォーカスモード）の使い方

オートフォーカス撮影中にマニュアルフォーカスに切り換えることができます。

1 **レンズのフォーカスモードを切り換えスイッチを [M/A] にセットする**

2 **オートフォーカス撮影時、カメラのシャッターボタンを半押ししたまま、あるいは AF 作動（AF-ON）ボタンを保持したまま、フォーカスリングを手で回転させる**
• 瞬時にマニュアルフォーカス撮影が行えます。
• カメラのシャッターボタンの半押しや AF 作動（AF-ON）ボタンを再度操作するとオートフォーカス撮影が可能となります。

■ 被写界深度

• 被写体の前後のピントが合う範囲（被写界深度）は、距離目盛基準線の両側の被写界深度目盛によって、おおよそ判ります。
• プレビュー（絞り込み）機構を持つカメラでは、撮影前にファインダー内で被写界深度を確認できます。
• 詳しい被写界深度は、被写界深度表をご覧ください。

■ 絞り値の設定

絞り値は、カメラ側で設定してください。

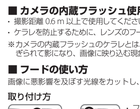
■ カメラの内蔵フラッシュ使用時のご注意

• 撮影距離 0.6 m 以上で使用してください。
• クラレ製的止まるために、レンズのフードは取り外して使用してください。
※カメラの内蔵フラッシュのケラレとは、フラッシュの光がレンズの先端でさえぎられて影になり、画像に映り込む現象です。

■ フードの使い方

画像に撮影着を及ぼす光線をカットし、レンズ面の保護にも役立ちます。

取り付け



• フード先端を強くつかむと着脱が困難になります。着脱の際は、フード取り付け指標（▲）付近を持って回転させてください。
• フードが正しく取り付けられないと画像にケラレを生じますのでご注意ください。
• 収納時はフードを逆向きにしてレンズに取り付けられます。

■ ファインダースクリーンとの組み合わせ

カメラ＼スクリーン	A	B	C	E	EC-B EC-E	G1	G2	G3	G4	J	L	M	U
F6	○	○	—	○	—	—	—	—	—	○	○	○	○
F5+DP-30	○	○		○	○	○				○	○		○
F5+DA-30	○	○		○	○	○	○ (+ 0.5)			○	○		○

構図の決定やピント合わせの目的には

○：視野の一部が多少見にくくなりますが、撮影結果には全く影響がありません。
—：各カメラに存在しないファインダースクリーンです。
（ ）：中央部重点測光時の補正値です。（カメラの場合、測光値の補正は、カメラのカスタムメニュー［b6：スクリーン補正］を［bxE 以外］にセットして行います。B 型および E 型以外を使用する場合は、補正量が 0 でも、［bxE 以外］にセットしてください。F5 カメラの場合は、カスタムセッティング No.18 の設定で測光値の補正を行います。詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。
空欄：使用不適当です。ただし、M スクリーンの場合、撮影倍率 1/1 付近上の近接撮影に用いるため、この限りではありません。

ご注意

F5 カメラの場合、マルチパターン測光は A、B、E、EC-B、EC-E、J、L スクリーンのみ可能です。

■ レンズのお手入れと取り扱い上のご注意

• フードをレンズに装着した状態で、フードだけを持たないでください。
• CPU（信号接点）部には触れないように注意してください。
• レンズマウントゴムリングが破損した場合は、そのまま使用せず販売店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
• レンズ面の清掃は、ホコリを払う程度にしてください。指紋がついたときは、柔らかい清潔な木綿の布に微水アルコール（エタノール）または市販のレンズクリーナーを少量湿らせ、レンズの中心から外周へ両巻状に、拭きムラ、拭き残りのないように注意して拭いてください。
• シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
• レンズ表面の汚れや傷を防ぐためにはUV フィルターをお使いいただけます。また、レンズのフードも役立ちます。
• レンズをケースに入れるときは、必ずレンズキャップと裏ぶたを取り付けてください。
• レンズを長期間使用しないときは、カビやサビを防ぐために、高湿多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、ナフタリンや樟脳のあるところも避けてください。
• レンズをカメラに乗っけて、脱品がサビつくなどして故障の原因となりますのでご注意ください。
• ストーブの前など、高温になるところに置かないでください。極端に湿度が高くなると、外観の一部に使用している強化プラスチックが変形することがあります。

■ 付属アクセサリー

• 58 mm スプリングぶたレンズキャップ LC-58
• 裏ぶた LF-4
• バヨネットフード HB-47
• ソフトケース CL-1013

■ 使用できるアクセサリー

• 58 mm ネジ込み式フィルター

■ 仕様

型式	ニコン F マウント CPU 内蔵 G タイプ、AF-S レンズ
焦点距離	50 mm
最大口径比	1：1.8
レンズ構成	6 群 7 枚（非球面レンズ 1 枚）
画角	47°（35 mm 判一眼レフカメラ、FX フォーマットのデジタル一眼レフカメラ） 31° 30′（DX フォーマットのデジタル一眼レフカメラ）
撮影距離情報	カメラへの撮影距離情報を出力可能
ピント合わせ	超音波モーターによるオートフォーカス、マニュアルフォーカス可能
撮影距離目盛	∞～ 0.45 m
最短撮影距離	撮像面から 0.45m
絞り羽根枚数	7 枚（円形絞り）
絞り方式	自動絞り
絞りの範囲	f/1.8 — f/16
測光方式	開放測光
アタッチメントサイズ	58 mm（P=0.75 mm）
寸法	約 73 mm（最大径）× 52.5 mm（レンズマウント基準面からレンズ先端まで）
質量	約 190g

※ 仕様、外観の一部を、改善のため予告なく変更することがあります。

English

Thank you for your purchase of a NIKKOR lens. Before using this product, please carefully read both these instructions and the camera manual.

Note: When mounted on a DX-format digital single-lens reflex camera such as the D7100 or D5200, this lens has an angle of view of 31° 30′ and a focal length equivalent to 75 mm (35 mm format).

For Your Safety

⚠ CAUTIONS

- ***Do not disassemble***. Touching the internal parts of the camera or lens could result in injury. In the event of malfunction, the product should be repaired only by a qualified technician. Should the product break open as the result of a fall or other accident, remove the camera battery and/or disconnect the AC adapter and then take the product to a Nikon-authorized service center for inspection.
- ***Turn the camera off immediately in the event of malfunction***. Should you notice smoke or an unusual smell coming from the equipment, immediately unplug the AC adapter and remove the camera battery, taking care to avoid burns. Continued operation could result in fire or injury. After removing the battery, take the equipment to a Nikon-authorized service center for inspection.
- ***Do not use in the presence of flammable gas***. Operating electronic equipment in the presence of flammable gas could result in explosion or fire.
- ***Do not look at the sun through the lens or the camera viewfinder***. Viewing the sun or other bright light source through the lens or viewfinder could cause permanent visual impairment.
- ***Keep out of reach of children***. Failure to observe this precaution could result in injury.
- ***Observe the following precautions when handling the lens and camera***:
  - Keep the lens and camera dry. Failure to observe this precaution could result in fire or electric shock.
  - Do not handle the lens or camera with wet hands. Failure to observe this precaution could result in electric shock.
  - Keep the sun well out of the frame when shooting backlit subjects. Sunlight focused into the camera when the sun is in or close to the frame could cause a fire.
  - If the lens will not be used for an extended period, attach the front and rear lens caps and store the lens out of direct sunlight. If left in direct sunlight, the lens could focus the sun's rays onto flammable objects, causing a fire.
- ***Do not carry tripods with a lens or camera attached***. You could trip or accidentally strike others, resulting in injury.
- ***Do not leave the lens where it will be exposed to extremely high temperatures, such as in an enclosed automobile or in direct sunlight***. Failure to observe this precaution could adversely affect the lens' internal parts, causing fire.

■ Parts of the Lens (Figure)

① Lens hood
② Lens hood lock mark
③ Lens hood alignment mark
④ Lens hood mounting mark
⑤ Focus ring
⑥ Focus distance indicator
⑦ Focus distance mark
⑧ Lens mounting mark
⑨ Rubber lens-mount gasket
⑩ CPU contacts
⑪ Focus-mode switch

■ Compatibility

Check marks (“✔”) indicate supported features, dashes (“—”) features that are not supported. Some limitations may apply; see the camera manual for details.

Camera	Exposure (shooting) mode				AF[1]
	P[4]	S	A	M	
Nikon FX-format and DX-format digital single-lens reflex cameras	✔	✔	✔	✔	✔
F6, F5, F100, F/N80-series[1], F/N75-series[1], F/N65-series[1], Pronea 600i/6i[1], Pronea S[2]	✔	✔	✔	✔	✔
F4-series, F90X/N90S[1], F90-series/N90[1], F70-series/N70[1]	✔	✔	—	—	✔
F60-series/N60[1], F/N55-series[1], F50-series/N50[1], F-401x/N5005[1], F-401s/N4004s[1], F-401/N4004[1]	✔	✔	✔	✔	—
F-801s/N8008s[1], F-801/N8008[1], F-601M/N6000[1]	✔	✔	—	—	—
F3AF, F-601/N6006[1], F-501/N2020[1], Nikon manual focus cameras (excluding F-601M/N6000[1])	—				

1. N-series cameras and Pronea 6i sold in U. S. A. only.
2. Exposure mode M (manual) not available.
3. N2020 sold in U. S. A. and Canada only.
4. Includes AUTO and scene (Digital Vari-Program) modes.
5. Autofocus.

■ Focus

Supported focus modes are shown in the following table (for information on camera focus modes, see the camera manual).

Camera	Camera focus mode	Lens focus mode	
		M/A	M
Nikon FX-format and DX-format digital single-lens reflex cameras, F6, F5, F4-series, F100, F90X/N90s[*], F90-series/N90[*], F/N75-series[*], F70-series/N70[*], F/N65-series[*], Pronea 600i/6i[*], Pronea S	AF	Autofocus with manual override	Manual focus with electronic rangefinder
	MF	Manual focus (electronic rangefinder available with all cameras except F-601M/N6000[*])	
F60-series/N60[*], F/N55-series[*], F50-series/N50[*], F-801s/N8008s[*], F-801/N8008[*], F-601M/N6000[*], F-401x/N5005[*], F-401s/N4004s[*], F-401/N4004[*]	AF, MF		

* N-series cameras and Pronea 6i sold in U. S. A. only.

M/A (Autofocus with Manual Override)

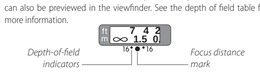
To focus using autofocus with manual override (M/A):

1 **Slide the lens focus-mode switch to M/A.**

2 **Focus.**
If desired, autofocus can be over-ridden by rotating the lens focus ring while the shutter-release button is pressed halfway (or, if the camera is equipped with an **AF-ON** button, while the **AF-ON** button is pressed). To refocus using autofocus, press the shutter-release button halfway or press the **AF-ON** button again.

■ Depth of Field

The depth-of-field indicators on the lens show the approximate depth of field. If the camera offers depth-of-field preview (stop down), depth of field can also be previewed in the viewfinder. See the depth of field table for more information.



■ Aperture

Aperture is adjusted using camera controls.

■ Built-in Flash Units

When using the built-in flash on cameras equipped with a built-in flash unit, shoot at ranges of 0.6 m (2 ft) or more and remove the lens hood to prevent vignetting (shadows created where the end of the lens obscures the built-in flash).

■ The Lens Hood

The lens hoods protect the lens and block stray light that would otherwise cause flare or ghosting.

Attaching the Hood

Align the lens hood mounting mark (●) with the lens hood alignment mark (▲) and then rotate the hood (❷) until the ● mark is aligned with the lens hood lock mark (—○).

When attaching or removing the hood, hold it near the ▲ symbol on its base and avoid gripping it too tightly. Vignetting may occur if the hood is not correctly attached.

The hood can be reversed and mounted on the lens when not in use.

Français

Nous vous remercions d'avoir acheté un objectif NIKKOR. Avant de l'utiliser, veuillez lire attentivement ces instructions et le manuel de l'appareil photo.

Remarque : lorsqu'il est monté sur un reflex numérique de format DX, comme le D7100 ou le D5200, cet objectif a un angle de champ de 31° 30′ et une focale équivalente à 75 mm (format 24x36 mm).

Pour votre sécurité

⚠ ATTENTION

- ***Ne pas démonter***. Toucher les parties internes de l'appareil photo ou de l'objectif peut provoquer des blessures. En cas de dysfonctionnement, le produit devra être réparé par un technicien qualifié uniquement. Si le produit s'ouvre à cause d'une chute ou de tout autre accident, retirez l'accumulateur de l'appareil photo et/ou débranchez l'adaptateur secteur et confiez le produit à un centre Nikon agréé pour le faire vérifier.
- ***Mettre immédiatement l'appareil hors tension en cas de dysfonctionnement***. Si vous détectez de la fumée ou une odeur inhabituelle provenant de l'équipement, débranchez immédiatement l'adaptateur secteur et retirez l'accumulateur de l'appareil photo, tout en prenant soin de ne pas vous brûler. Poursuivre son utilisation peut provoquer un incendie ou des blessures. Après avoir retiré l'accumulateur, confiez l'équipement à un centre Nikon agréé pour le faire vérifier.
- ***Ne pas utiliser en présence de gaz inflammable***. L'utilisation d'équipement électronique en présence d'un gaz inflammable peut provoquer une explosion ou un incendie.
- ***Ne pas regarder le soleil avec l'objectif ou le viseur de l'appareil photo***. Regarder le soleil ou toute autre source lumineuse intense avec l'objectif ou le viseur peut provoquer des troubles de la vision irréversibles.
- ***Tenir éloigné des enfants.*** Le non-respect de cette précaution peut provoquer des blessures.
- ***Suivre les précautions ci-dessous lors de la manipulation de l'objectif et de l'appareil photo*** :
  - Tenir l'objectif et l'appareil photo au sec. Le non-respect de cette précaution peut provoquer un incendie ou un choc électrique.
  - Ne pas manipuler l'objectif ou l'appareil photo avec des mains mouillées. Le non-respect de cette précaution peut provoquer un choc électrique.
  - Ne pas inclure le soleil dans le cadrage lors de la prise de vue de sujets en contre-jour. La concentration de la lumière du soleil dans l'appareil photo lorsque le soleil est dans ou à proximité du champ de l'image peut provoquer un incendie.
  - Si vous n'avez pas l'intention d'utiliser l'objectif pendant une période prolongée, fixez les bouchons avant et arrière et rangez l'objectif hors de la lumière directe du soleil. Si l'objectif est laissé en contact direct avec la lumière du soleil, les rayons peuvent toucher des objets inflammables, provoquant ainsi un incendie.
- ***Ne pas porter un trépied sur lequel un objectif ou l'appareil photo est fixé***. Vous risquerez de trébucher ou de frapper accidentellement des personnes, provoquant ainsi des blessures.
- ***Ne pas laisser l'objectif là où il serait exposé à des températures élevées, comme une voiture fermée ou à la lumière directe du soleil***. Le non-respect de cette précaution peut avoir des répercussions sur les parties internes de l'objectif, pouvant provoquer un incendie.

■ Parties de l'objectif (Figure)

① Parasoleil
② Repère de verrouillage du parasoleil
③ Repère d'alignement du parasoleil
④ Repère de montage du parasoleil
⑤ Bague de mise au point
⑥ Indicateur de distance de mise au point
⑦ Repère de distance de mise au point
⑧ Repère de montage de l'objectif
⑨ Joint en caoutchouc de la monture d'objectif
⑩ Contacts du microprocesseur
⑪ Commutateur du mode de mise au point

■ Compatibilité

Les marques (« ✔ ») indiquent les fonctions prises en charge, les traits (« — ») les fonctions non prises en charge. Certaines restrictions peuvent s'appliquer ; consultez le manuel de l'appareil photo pour plus de détails.

Appareil photo	Mode d'exposition (prise de vue)				AF[1]
	P[2]	S	A	M	
Appareils photo numériques reflex Nikon de format FX et DX	✔	✔	✔	✔	✔
F6, F5, F100, gamme F80, gamme F75, gamme F65, Pronea 600i, Pronea S[1]	✔	✔	✔	✔	✔
Gamme F4, F90X, gamme F90, gamme F70	✔	✔	—	—	✔
Gamme F60, gamme F55, gamme F50, F-401x, F-401s, F-401	✔	✔	✔	✔	—
F-801s, F-801, F-601M	✔	✔	—	—	—
F3AF, F-601, F-501, appareils MF Nikon (sauf F-601M)	—				

1. Mode d'exposition M (manuel) non disponible.
2. Inclut les modes AUTO et scène (Vari-programme).
3. Autofocus.

■ Mise au point

Les modes de mise au point pris en charge sont indiqués dans le tableau suivant (pour en savoir plus sur les modes de mise au point de l'appareil photo, consultez le manuel de ce dernier).

Appareil photo	Mode de mise au point de l'appareil photo	Mode de mise au point de l'objectif	
		M/A	M
Appareils photo numériques reflex Nikon de format FX et DX, F6, F5, F4, gamme F4, F100, F90X, gamme F90, gamme F80, gamme F75, gamme F70, gamme F65, Pronea 600i, Pronea S	AF	Autofocus à priorité manuelle	Mise au point manuelle avec télémètre électronique
	MF	Mise au point manuelle (télémètre électronique disponible sur tous les appareils photo excepté F-601M)	
Gamme F60, gamme F55, gamme F50, F-801s, F-801, F-601M, F-401x, F-401s, F-401	AF, MF		

M/A (Autofocus à priorité manuelle)

Pour faire la mise au point en utilisant l'autofocus à priorité manuelle (M/A) :

1 **Positionnez le commutateur du mode de mise au point de l'objectif sur M/A.**

2 **Effectuez la mise au point.**
Si vous le souhaitez, vous pouvez désactiver l'autofocus en pivotant la bague de mise au point de l'objectif avec le déclencheur appuyé à mi-course (ou avec la commande **AF-ON** appuyée, si l'appareil photo est pourvu d'une commande **AF-ON**). Pour refaire la mise au point avec l'autofocus, appuyez à mi-course sur le déclencheur ou appuyez de nouveau sur la commande **AF-ON**.

■ Profondeur de champ

Les indicateurs de profondeur de champ visibles sur l'objectif indiquent la profondeur de champ approximative. Si l'appareil photo dispose d'une fonction d'aperçu de la profondeur de champ, il est également possible de prévisualiser cette dernière dans le viseur. Reportez-vous au tableau de la profondeur de champ pour en savoir plus.

■ Ouverture

Pour régler l'ouverture, utilisez les commandes de l'appareil photo.

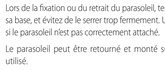
■ Flash intégré

Lors de l'utilisation du flash intégré (pour les appareils photo équipés d'un flash intégré), photographiez à des distances de 0,6 m ou plus et retirez le parasoleil pour éviter l'effet de vignettage (ombres créées lorsque l'extrémité de l'objectif occulte le flash intégré).

■ Parasoleil

Le parasoleil protège l'objectif et bloque la lumière diffuse pouvant causer de la lumière parasite ou une image fantôme.

Fixation du parasoleil



Alignez le repère de montage du parasoleil (●) sur le repère d'alignement du parasoleil (▲), puis tournez le parasoleil (❷) jusqu'à ce que le repère ● soit aligné sur le repère de verrouillage du parasoleil (—○).

Lors de la fixation ou du retrait du parasoleil, tenez-le près du symbole ▲ sur sa base, et évitez de le serrer trop fermement. Un vignettage peut se produire si le parasoleil n'est pas correctement attaché.

Le parasoleil peut être retourné et monté sur l'objectif lorsqu'il n'est pas utilisé.

■ Verres de visée

Les appareils photo suivants sont compatibles avec un grand nombre de verres de visée adaptés à différentes situations.

Appareil photo	Verre												
	A	B	C	E	EC-B EC-E	G1	G2	G3	G4	J	L	M	U
F6	●	●	—	●	—	—	—	—	—	●	●	●	●
F5+DP-30	●	●		●	●		●			●	●		●
F5+DA-30	●	●		●	●	● (+0,5)				●	●		●

● : Recommandé.
○ : Vignettage visible dans le viseur (les photos ne sont pas affectées).
— : Non compatible avec l'appareil photo.
( ) : Les chiffres entre parenthèses donnent la correction d'exposition pour la mesure pondérée centrale. Sélectionnez « Activ.: autre » pour le Réglage personnalisé b6 (« Plage visée ») lors de l'ajustement de la correction d'exposition pour l'appareil photo F6 ; remarquez qu'avec les verres autres que B ou E, « Activ.: autre » doit être sélectionné, et ce même lorsque la valeur pour la correction d'exposition est de 0. La correction d'exposition pour l'appareil photo F5 peut être ajustée en utilisant le Réglage personnalisé 18 ; consultez le manuel de l'appareil photo pour plus de détails.
Cellule vide : L'utilisation ne convient pas avec cet objectif. Veuillez remarquer cependant que les verres de type M peuvent être utilisés pour la microphotographie et la macrophotographie avec un grossissement de 1 : 1 ou plus.

Remarque : *l'appareil photo F5 prend en charge la mesure matricielle avec les verres de visée A, B, E, EC-B/EC-E, J, et L uniquement.*

■ Entretien de l'objectif

• Ne prenez pas ou ne tenez pas l'objectif ou l'appareil photo en saisissant uniquement le parasoleil.
• Maintenez les contacts du microprocesseur propres.
• Si le joint en caoutchouc de la monture d'objectif est endommagé, cessez immédiatement l'utilisation et confiez l'objectif à un centre Nikon agréé pour le faire réparer.
• Utilisez une soufflette pour enlever la poussière et les peluches sur la surface de l'objectif. Pour effacer les taches et les traces de doigt, imprégnez un morceau de tissu propre en coton avec une petite quantité d'éthanol ou de nettoyant pour objectif ou utilisez une lingette de nettoyage d'objectif, et nettoyez avec un mouvement circulaire à partir du centre vers l'extérieur, tout en prenant soin de ne pas laisser de taches, ni de toucher le verre avec vos doigts.
• N'utilisez jamais de solvants organiques comme un diluant à peinture ou du benzène pour nettoyer l'objectif.
• Le parasoleil ou les filtres NC peuvent être utilisés pour protéger la lentille frontale.
• Fixez les bouchons avant et arrière avant de placer l'objectif dans son étui.
• Si vous n'avez pas l'intention d'utiliser l'objectif pendant une période prolongée, rangez-le dans un endroit frais et sec pour éviter la moisissure et la rouille. Ne pas ranger à la lumière directe du soleil ou avec des boules antimites de naphtaline ou de camphre.
• Tenez l'objectif au sec. La formation de rouille sur le mécanisme interne peut causer des dégâts irréparables.
• Laisser l'objectif dans des endroits extrêmement chauds peut endommager ou déformer les éléments composés de plastique renforcé.

■ Accessoires fournis

• Bouchon avant d'objectif encliquetable 58 mm LC-58
• Bouchon arrière d'objectif LF-4
• Parasoleil à baïonnette HB-47
• Étui souple pour objectif CL-1013

■ Accessoires compatibles

• Filtres à visser 58 mm

■ Caractéristiques

Type	Objectif AF-S de type G avec microprocesseur intégré et monture F
Focale	50 mm
Ouverture maximale	f/1.8
Construction optique	7 lentilles en 6 groupes (dont 1 lentille asphérique)
Angle de champ	• **Reflex numériques Nikon de format FX et reflex argentiques Nikon** : 47° • **Reflex numériques Nikon de format DX** : 31° 30′
Information de distance	Communiquée au boîtier de l'appareil photo
Mise au point	Autofocus commandé par un moteur ondulatoire silencieux (SWM) et bague de mise au point pour mise au point manuelle
Indicateur de distance de mise au point	0,45 m à l'infini (∞)
Distance minimale de mise au point	0,45 m depuis le plan focal
Lamelles de diaphragme	7 (diaphragme circulaire)
Diaphragme	Intégralement automatique
Plage des ouvertures	f/1.8 à f/16
Mesure	Pleine ouverture
Diamètre de fixation pour filtre	58 mm (P = 0,75 mm)
Dimensions	Environ 73 mm de diamètre maximum × 52,5 mm (distance à partir du plan d'appui de la monture d'objectif de l'appareil photo)
Poids	Environ 190 g

Nikon se réserve le droit de modifier les caractéristiques du matériel décrit dans ce manuel à tout moment et sans préavis.

Español

Gracias por adquirir un objetivo NIKKOR. Antes de utilizar este producto, lea detenidamente tanto estas instrucciones como el manual de la cámara.

Nota: Al instalarse en una cámara digital réflex de objetivo único de formato DX, como la D7100 o D5200, este objetivo posee un ángulo de visión de 31° 30′ y una distancia focal equivalente a 75 mm (formato de 35 mm).

Por su seguridad

⚠ PRECAUCIONES

- ***No desarmar***. Tocar las piezas internas de la cámara o el objetivo podría resultar en lesiones. En caso de mal funcionamiento, el producto debe ser reparado solamente por un técnico cualificado. Si el producto llegara a romperse debido a una caída o accidente, quite la batería de la cámara y/o desconecte el adaptador de CA y después lleve el producto a un servicio técnico autorizado de Nikon para inspeccionarlo.
- ***Apague inmediatamente la cámara en caso de mal funcionamiento***. Si llegara a notar humo o un olor inusual proveniente del equipo, desconecte inmediatamente el adaptador de CA y quite la batería de la cámara, procurando evitar quemaduras. Si continúa operando el equipo podría causar fuego o lesiones. Después de quitar la batería, lleve el equipo a un servicio técnico autorizado de Nikon para inspeccionarlo.
- ***No lo use en presencia de gas inflamable***. Operar equipo electrónico en la presencia de gas inflamable podría resultar en una explosión o incendio.
- ***No mire hacia el sol a través del objetivo o del visor de la cámara***. Ver el sol u otra fuente de luz brillante a través del objetivo o del visor podría ocasionar daños oculares permanentes.
- ***Manténgalo lejos del alcance de los niños***. De no tener en cuenta esta precaución podría resultar en lesiones.
- ***Tenga presentes las siguientes precauciones al manipular el objetivo y la cámara***:
  - Mantenga seco el objetivo y la cámara. De no tener en cuenta esta precaución podría resultar en un incendio o descarga eléctrica.
  - No manipule el objetivo ni la cámara con las manos mojadas. De no tener en cuenta esta precaución podría resultar en descargas eléctricas.
  - Mantenga el sol fuera del fotograma al disparar a sujetos a contraluz. La luz del sol enfocada en la cámara cuando el sol se encuentra en o cerca del fotograma podría ocasionar un incendio.
  - Si el objetivo no se va a usar por un periodo largo de tiempo, coloque la tapa del objetivo delantera y trasera y mantenga el objetivo lejos de la luz solar directa. Si lo deja a la luz solar directa, el objetivo podría enfocar los rayos del sol sobre objetos inflamables, ocasionando un incendio.
- ***No transporte el trípode con un objetivo o con la cámara instalada***. Podría caerse o golpear accidentalmente a otros, ocasionando lesiones.
- ***No deje el objetivo donde esté expuesto a temperaturas extremadamente altas, como en un automóvil cerrado o a la luz solar directa***. De no tener presente esta precaución podría afectar adversamente las piezas internas del objetivo, ocasionando un incendio.

■ Partes del objetivo (Imagen)

① Parasol de objetivo
② Marca de bloqueo del parasol
③ Marca de alineación del parasol
④ Marca de montaje del parasol
⑤ Anillo de enfoque
⑥ Indicador de distancia de enfoque
⑦ Marca de distancia de enfoque
⑧ Marca de montaje de objetivo
⑨ Junta de goma de montaje del objetivo
⑩ Contactos de CPU
⑪ Interruptor de modo de enfoque

■ Compatibilidad

Las marcas de verificación (“✔”) indican las funciones compatibles, los guiones (“—”) las funciones que no son compatibles. Podrían aplicarse algunas limitaciones; consulte el manual de la cámara para más detalles.

Cámara	Modo de exposición (disparo)				AF[1]
	P[4]	S	A	M	
Cámaras reflex digitales de objetivo único de Nikon de formato FX y DX	✔	✔	✔	✔	✔
F6, F5, F100, Serie F/N80[1], Serie F/N75[1], Serie F/N65[1], Pronea 600i/6i[1], Pronea S[2]	✔	✔	✔	✔	✔
Serie F4, F90X/N90s[1], Serie F90/N90[1], Serie F70/N70[1]	✔	✔	—	—	✔
Serie F60/N60[1], Serie F/N55[1], Serie F50/N50[1], F-401x/N5005[1], F-401s/N4004s[1], F-401/N4004[1]	✔	✔	✔	✔	—
F-801s/N8008s[1], F-801/N8008[1], F-601M/N6000[1]	✔	✔	—	—	—
F3AF, F-601/N6006[1], F-501/N2020[3], cámaras de enf

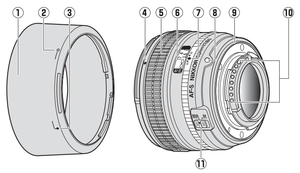
Nikon

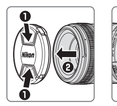
NIKKOR

AF-S NIKKOR 50mm f/1.8G (Special Edition)

Sc 使用说明书
Pb Manual do usuário
Kr 사용설명서
Jp 使用説明書
En User's Manual
Fr Manuel d'utilisation
Es Manual del usuario

NIKON CORPORATION





图/Figura/그림

中文版（简体）

保留备用

使用产品前请仔细阅读本使用说明书。

感谢您购买尼克尔镜头。在使用本产品前，请仔细阅读这些使用说明和照相机的说明书。

注意：当安装在一台 DX 格式数码单镜反光照相机（例如 D7100 或 D5200）上时，该镜头的视角为 31° 30′ 且焦距相当于 75mm（35mm 格式）。

安全须知

请在使用前仔细阅读“安全须知”，并以正确的方法使用。本“安全须知”中记载了重要的内容，可使您能够安全、正确地使用产品，并预防对您或他人造成人身伤害或财产损失。请在阅读之后妥善保管，以便本产品的所有使用者可以随时查阅。

有关指示

本节中标注的指示和含义如下。

⚠ 警告	表示若不遵守该项指示或操作不当，则有可能造成人员死亡或负重伤的内容。
⚠ 注意	表示若不遵守该项指示或操作不当，则有可能造成人员伤害、以及有可能造成物品损害的内容。

本节使用以下图示和符号对必须遵守的内容作分类和说明。

图示和符号的实例

△	符号表示唤起注意（包括警告）的内容。在图示中或图示附近标有具体的注意内容（左图之例为当心触电）。
⃠	符号表示禁止（不允许进行的）的行为。在图示中或图示附近标有具体的禁止内容（左图之例为禁止拆解）。
●	符号表示强制执行（必需进行）的行为。在图示中或图示附近标有具体的强制执行内容（左图之例为取出电池）。

⚠ 警告

禁止拆解	切勿自行拆解、修理或改装。否则将会造成触电、发生故障并导致受伤。
禁止触碰	当产品由于跌落而破损使得内部外露时，切勿用手触碰外露部分。否则将会造成触电、或由于破损部分而导致受伤。取出照相机电池，并委托经销商或尼康授权的维修服务中心进行修理。
立即委托修理	
取出电池	当发现产品变热、冒烟或发出焦味等异常时，请立刻取出照相机电池。若在此情况下继续使用，将会导致火灾或烫伤。取出电池时，请小心勿被烫伤。取出电池，并委托经销商或尼康授权的维修服务中心进行修理。
立即委托修理	
禁止接触水	切勿浸入水中或接触到水，或被雨水淋湿。否则将会导致起火或触电。
禁止使用	切勿在有可能起火、爆炸的场所使用。在有丙烷气、汽油、可燃性喷雾剂等易燃性气体、粉尘的场所使用产品，将会导致爆炸或火灾。
禁止观看	切勿用镜头或照相机直接观看太阳或强光。否则将会导致失明或视觉损伤。

⚠ 注意

当心触电	切勿用湿手触碰。否则将有可能导致触电。
禁止放置	切勿在婴幼儿伸手可及之处保管产品。否则将有可能导致婴幼儿受伤。
小心使用	进行逆光拍摄时，务必使太阳充分偏离视角。阳光会在照相机内部聚焦，并有可能导致火灾。太阳偏离视角的距离微小时，也有可能会导致火灾。
妥善保存	不使用时请盖上镜头盖，或保存在没有阳光照射处。阳光会聚焦，并有可能导致火灾。
小心移动	进行移动时，切勿将照相机或镜头安装在三脚架上。摔倒、碰撞时将有可能导致受伤。
禁止放置	切勿放置于封闭的车辆中、直射阳光下或其他异常高温之处。否则将对内部零件造成不良影响，并导致火灾。

■ 镜头部件（图）

① 镜头遮光罩
② 镜头遮光罩锁定标记
③ 镜头遮光罩对齐标记
④ 镜头遮光罩安装标记
⑤ 对焦环
⑥ 对焦距离指示
⑦ 对焦距离标记
⑧ 镜头安装标记
⑨ 镜头卡口橡胶垫圈
⑩ CPU 接点
⑪ 对焦模式切换器

■ 兼容性

勾选标记（“✔”）表示支持的功能，破折号（“—”）表示不支持的功能。可用功能可能受到一些限制：有关详细信息，请参阅照相机的说明书。

照相机	曝光（拍摄）模式				
	P[2]	S	A	M	AF[3]
尼康FX格式和DX格式数码单镜反光照相机	✔	✔	✔	✔	✔
F6、F5、F100、F80系列、F75系列、F65系列、Pronea 600i、Pronea S[1]	✔	✔	✔	✔	✔
F4系列、F90X、F90系列、F70系列	✔	✔	—	—	✔
F60系列、F55系列、F50系列、F-401x、F-401s、F-401	✔	✔	✔	✔	—
F-801s、F-801、F-601M	✔	✔	—	—	—
F3AF、F-601、F-501、尼康MF照相机（F-601M除外）	—				

1 曝光模式 M（手动）不可用。
2 包括自动和场景（数字可变程序）模式。
3 自动对焦。

■ 对焦

所支持的对焦模式如下表所示（有关照相机对焦模式的信息，请参阅照相机的说明书）。

照相机	照相机对焦模式	镜头对焦模式	
		M/A	M
尼康FX格式和DX格式数码单镜反光照相机、F6、F5、F4系列、F100、F90X、F90系列、F80系列、F75系列、F70系列、F65系列、Pronea 600i、Pronea S	AF	手动优先的自动对焦	带有电子测距仪的手动对焦
	MF	手动对焦（除F-601M以外的所有照相机均带有电子测距仪）	
F60系列、F55系列、F50系列、F-801s、F-801、F-601M、F-401x、F-401s、F-401	AF、MF		

M/A（手动优先的自动对焦）

使用手动优先的自动对焦（M/A）进行对焦的步骤如下：

1. **将镜头对焦模式切换器推至 M/A。**
2. **对焦。**
   若有需要，您可在半按快门释放按钮期间（或者，若照相机配备有一个 AF-ON 按钮，则在按下 AF-ON 按钮期间）旋转镜头对焦环来使手动对焦优先于自动对焦。若要使用自动对焦以重新对焦，请再次半按快门释放按钮或再次按下 AF-ON 按钮。

■ 景深

镜头上的景深指示表示大致的景深。若照相机支持景深预览（光圈缩小），则景深还可在取景器中进行预览。有关详细信息，请参阅景深列表。

景深指示 *对焦距离标记*

■ 光圈

请使用照相机控制调整光圈。

■ 内置闪光灯组件

当使用配备有一个内置闪光灯组件的照相机上的内置闪光灯时，请在距离拍摄对象至少 0.6 m 处进行拍摄，并取下镜头遮光罩以避免产生渐晕（因镜头末端遮挡内置闪光灯所产生的阴影）。

■ 镜头遮光罩

镜头遮光罩可保护镜头并阻挡可能导致杂光或鬼影的散射光线。

安装遮光罩

将镜头遮光罩安装标记（●）与镜头遮光罩对齐标记（┌─）对齐，然后旋转遮光罩（❷）直至●标记与镜头遮光罩锁定标记（└─○）对齐。

安装或取下遮光罩时，请在其底部的┌─标记附近将其握住，并避免握得太紧。若未正确安装好遮光罩，则可能会产生渐晕。

不使用时，可将遮光罩反转并固定在镜头上。

■ 对焦屏

下列照相机支持用于不同情况下的多种对焦屏。

照相机 \ 对焦屏	A	B	C	E	EC-B EC-E	G1	G2	G3
F6	●	●	—	●	—	—	—	—
F5+DP-30	●	●		●			●	
F5+DA-30	●	●		●			●(+0.5)	

照相机 \ 对焦屏	G4	J	L	M	U
F6	—	●	●		●
F5+DP-30		●	●		●
F5+DA-30		●	●		●

◎： 推荐使用。
○： 在取景器中可见渐晕（照片不会受到影响）。
—： 与照相机不兼容。
（ ）： 括号中的数据是指用于中央重点测光的曝光补偿值。当调整F6的曝光补偿时，请在个人设定 b6（“对焦屏补偿”）中选择“其它对焦屏”：请注意，使用B或E以外的对焦屏时，即使曝光补偿值为0，也必须选择“其它对焦屏”。F5的曝光补偿可使用个人设定18进行调整；有关详细信息，请参阅照相机的说明书。

空白单元格：不适用于该镜头。请注意，在放大倍率为1：1或更高时，M型屏幕仍可用于显微拍摄和微距拍摄。

注意：F5 仅在使用 A、B、E、EC-B/EC-E、J 和 L 对焦屏时支持矩阵测光。

■ 镜头保养

- 拿起或持握镜头或照相机时，切勿仅持拿镜头遮光罩。
- 保持 CPU 接点清洁。
- 若镜头卡口橡胶垫圈损坏，请立即停止使用并将镜头送至尼康授权的维修服务中心进行维修。
- 用欧气球去除镜头表面的灰尘和浮屑。若要去除污点和指纹，可使用一块滴有少许乙醇或镜头清洁剂的干净软棉布或镜头清洁纸，以圆周运动方式从里向外进行清洁。注意不要留下污渍，也不要用手指碰触玻璃。
- 切勿使用涂料稀释剂或苯等有机溶剂清洁镜头。
- 镜头遮光罩或 NC 滤镜可用于保护前部镜头元件。
- 将镜头放入半软镜头袋之前，请盖好镜头前盖和镜头后盖。
- 若在较长时间内不使用镜头，请将其存放在阴凉干燥的地方以防止发霉和生锈。切不可存放在直射阳光下，也不可与石脑油或樟脑丸一起存放。
- 保持镜头干燥。内部构造生锈将导致无法挽回的损坏。
- 将镜头放置在过于炎热的地方将会使强化塑料部件受损或变形。
- 运输产品时，请在包装箱内装入足够多的缓冲材料，以减少（避免）由于冲击导致产品损坏。

■ 随附配件

- 58 mm 搭扣式镜头前盖 LC-58
- 镜头后盖 LF-4
- 卡口式镜头遮光罩 HB-47
- 半软镜头袋 CL-1013

■ 兼容的配件

- 58 mm 旋入式滤镜

■ 技术规格

类型	带内置CPU和F卡口的G型AF-S镜头
焦距	50 mm
最大光圈	f/1.8
镜头结构	6组7片（包括1个非球面镜头元件）
视角	• 尼康胶卷单镜反光与FX格式数码单镜反光照相机：47° • 尼康DX格式数码单镜反光照相机：31° 30′
距离信息	输出到照相机
对焦	可进行由宁静波动马达控制的自动对焦，也具备用于手动对焦的独立对焦环
对焦距离指示	0.45 m 至无穷远（∞）
最近对焦距离	0.45 m（至焦平面）
光圈叶片	7片（圆形光圈孔）
光圈	全自动
光圈范围	f/1.8 到 f/16
测光	全开光圈测光
滤镜附件尺寸	58 mm（P = 0.75 mm）
尺寸	约 73 mm（最大直径）× 52.5 mm（从照相机镜头卡口边缘开始的距离）
重量	约 190 g

尼康公司保留可随时更改说明书内载之硬件技术规格的权利，而无须事先通知。

进口商：尼康映像仪器销售（中国）有限公司
（上海市西藏中路268号来福士广场50楼01-04室，200001）
尼康客户支持中心服务热线：4008-201-665
（周一至周日9:00–18:00）
http://www.nikon.com.cn/

在日本印刷
出版日期：2013年7月1日

照相机及相关产品中有毒有害物质或元素的名称、含量及环保使用期限说明

环保使用期限	部件名称	有毒有害物质或元素					
		铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
⑩	1 照相机外壳和镜筒（金属制）	×	○	○	○	○	○
	照相机外壳和镜筒（塑料制）	○	○	○	○	○	○
	2 机械元件	×	○	○	○	○	○
	3 光学镜头、棱镜、滤镜玻璃	○	○	○	○	○	○
	4 电子表面装配元件（包括电子元件）	×	○	○	○	○	○
	5 机械元件，包括螺钉、包括螺母和垫圈等	○	○	○	○	○	○

注：
○ 有毒有害物质或元素标识说明
表示该有毒有害物质或元素在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T11363-2006标准规定的限量要求以下。
× 表示该有毒有害物质或元素至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T11363-2006标准规定的限量要求。但是，以现有的技术条件要使照相机相关产品完全不含有上述有毒有害物质极为困难，并且上述产品都包含在《关于电气电子设备中特定有害物质使用限制指令2002/95/EC》的豁免范围之内。

环保使用期限
此标志的数字是基于中华人民共和国电子信息产品污染控制管理办法及相关标准，表示该产品的环保使用期限的年数。
请遵守产品的安全及使用注意事项，并在产品使用后根据各地的法律、规定以适当的方法回收再利用或废弃处理本产品。

Português (Brasil)

Obrigado por adquirir uma lente NIKKOR. Antes de usar este produto, leia cuidadosamente estas instruções e o manual de referência da câmera.

Nota: Quando fixada em uma câmera digital reflex de lente única de formato DX tal como a D7100 ou a D5200, esta lente tem um ângulo de visão de 31° 30′ e uma distância focal equivalente a 75 mm (formato 35 mm).

Para sua segurança

⚠ PRECAUÇÕES

- ***Não desmonte***. Tocar nas partes internas da câmera ou lente poderá resultar em lesões. Em caso de avaria, o produto deve ser reparado apenas por um técnico qualificado. Caso o produto abra como resultado de uma queda ou outro acidente, retire a bateria da câmera e/ou desligue o adaptador AC e, em seguida, leve o produto a uma assistência técnica autorizada Nikon para inspeção.
- ***Desligue imediatamente a câmera em caso de avaria***. Se notar fumaça ou um odor estranho vindo do equipamento, desligue imediatamente o adaptador AC e remova a bateria da câmera, tomando cuidado para evitar queimaduras. A continuação da utilização poderá resultar em incêndio ou lesões. Depois de remover a bateria, leve o equipamento a uma assistência técnica autorizada Nikon para inspeção.
- ***Não use em presença de gás inflamável***. Operar equipamento eletrônico na presença de gás inflamável pode resultar em explosão ou incêndio.
- ***Não olhe para o sol através da lente ou do visor da câmera***. A observação do sol ou de outra fonte de luz intensa através da lente ou do visor pode causar incapacidade visual permanente.
- ***Mantenha afastado do alcance das crianças***. A não observância desta precaução poderá resultar em lesões.
- ***Observe as seguintes precauções quando manusear a lente ou a câmera***:
  - Mantenha a lente e a câmera secas. A não observância desta precaução poderá resultar em lesões ou em choque elétrico.
  - Não manuseie a lente ou a câmera com mãos molhadas. A não observância desta precaução poderá resultar em choque elétrico.
  - Mantenha o sol bem fora do enquadramento quando fotografar assuntos em contraluz. A luz solar focada para a câmera quando o sol estiver dentro ou perto do enquadramento pode causar um incêndio.
  - Se a lente não vai ser utilizada por um longo período, coloque as tampas frontal e traseira e guarde a lente longe da luz solar direta. Se deixada à luz solar direta, a lente pode focar os raios do sol sobre objetos inflamáveis, provocando um incêndio.
- ***Não transporte tripés com uma lente ou uma câmera acoplada***. Poderá tropeçar ou atingir alguém acidentalmente, resultando em lesões.
- ***Não deixe a lente num local onde fique exposta a temperaturas extremamente altas, tais como num automóvel fechado ou sob a luz solar direta***. A não observância desta precaução poderá afetar adversamente as partes internas da lente, causando um incêndio.

■ Partes da lente (Figura)

① Parassol da lente
② Marca de trava do parassol da lente
③ Marca de alinhamento do parassol da lente
④ Marca de montagem do parassol da lente
⑤ Anel de foco
⑥ Indicador de distância focal
⑦ Marca de distância focal
⑧ Marca de montagem da lente
⑨ Gaxeta de borracha de fixação da lente
⑩ Contatos CPU
⑪ Chave de modo de foco

■ Compatibilidade

As marcas de verificação (“✔”) indicam funcionalidades suportadas, traços (“—”) indicam funcionalidades que não são suportadas. Algumas limitações podem ser aplicáveis; consulte o manual da câmera para obter detalhes.

Câmera	Modo de exposição (disparo)				
	P[2]	S	A	M	AF[3]
Câmeras Nikon digitais reflex de lente única de formato FX e formato DX	✔	✔	✔	✔	✔
F6, F5, F100, série F80, série F75, série F65, Pronea 600i, Pronea S[1]	✔	✔	✔	✔	✔
Série F4, F90X, série F90, série F70	✔	✔	—	—	✔
Série F60, série F55, série F50, F-401x, F-401s, F-401	✔	✔	✔	✔	—
F-801s, F-801, F-601M	✔	✔	—	—	—
F3AF, F-601, F-501, câmeras Nikon de foco manual (excluindo F-601M)	—				

1. Modo de exposição M (manual) não disponível.
2. Inclui modos AUTO e cena (Vari-Program Digital).
3. Foco automático.

■ Foco

Os modos de foco suportados são apresentados na tabela seguinte (para informação sobre os modos de foco, consulte o manual da câmera).

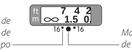
Câmera	Modo de foco da câmera	Modo de foco da lente	
		M/A	M
Câmeras Nikon digitais reflex de lente única de formato FX e formato DX, F6, F5, série F4, F100, F90X, série F90, série F80, série F75, série F70, série F65, Pronea 600i, Pronea S	AF	Foco automático com preferência para ajuste manual	Foco manual com telemetria eletrônica
	MF	Foco manual (telemetria eletrônica disponível com todas as câmeras exceto F-601M)	
Série F60, série F55, série F50, F-801s, F-801, F-601M, F-401x, F-401s, F-401	AF, MF		

M/A (Foco automático com preferência para ajuste manual)
Para focar usando o foco automático com preferência para ajuste manual (M/A):

1. Deslize a chave do modo de foco da lente para M/A.
2. Foque.
   Se desejado, o foco automático pode ser cancelado girando o anel de foco da lente enquanto o botão de liberação do obturador é pressionado até a metade (ou, se a câmera estiver equipada com um botão **AF-ON**, enquanto o botão **AF-ON** é pressionado). Para focar novamente usando o foco automático, pressione o botão de liberação do obturador até a metade ou pressione novamente o botão **AF-ON**.

■ Profundidade de campo

Os indicadores de profundidade de campo na lente mostram a profundidade de campo aproximada. Se a câmera oferecer visualização prévia da profundidade de campo (stop down), a profundidade de campo pode também ser pré-visualizada no visor. Consulte a tabela de profundidade de campo para mais informações.



Indicadores de profundidade de campo *Marca de distância de foco*

■ Abertura

A abertura é ajustada usando os controles da câmera.

■ Unidades de flash embutidas

Quando usar o flash embutido em câmeras equipadas com uma unidade de flash embutido, fotografe a distâncias de 0,6 m ou mais e remova o parassol da lente para evitar vinhetas (sombras criadas onde a extremidade da lente obscurece o flash embutido).

■ Parassol

O parassol protege a lente e bloqueia a luz difusa que de outra forma causaria refração ou fantasmas.

Acoplar o parassol

Alinhe a marca de fixação do parassol da lente (●) com a marca de alinhamento do parassol da lente (┌─) e depois gire o parassol (❷) até a marca ● ficar alinhada com a marca de trava do parassol da lente (└─○).

Ao acoplar ou remover o parassol, segure-o perto do símbolo ┌─ na sua base e evite apertá-lo com força. Poderá ocorrer vinheta se o parassol não for corretamente acoplado.

O parassol pode ser invertido e montado na lente quando não estiver em uso.

■ Telas de focagem

As seguintes câmeras suportam uma variedade de telas de focagem para uso em diferentes situações.

Câmera \ Tela	A	B	C	E	EC-B EC-E	G1	G2	G3	G4	J	L	M	U
F6	●	●	—	●	—	—	—	—	—	●	●		●
F5+DP-30	●	●		●			●			●	●		●
F5+DA-30	●	●		●			●(+0.5)			●	●		●

◎: recomendado.
○: vinheta visível no visor (as fotografias não são afetadas).
—: não compatível com a câmera.
( ): os valores entre parênteses indicam a compensação de exposição para a fotometria de concentração central. Selecione “Outras telas” na definição personalizada b6 (“Comp. tela”) para ajustar a compensação de exposição para a F6; note que com telas diferentes de B ou E, “Outras telas” deve ser selecionado, mesmo quando o valor de compensação de exposição é 0. A compensação de exposição para a F5 pode ser ajustada usando a definição personalizada 18; consulte o manual da câmera para obter detalhes.

Célula vazia: não apropriado para usar com esta lente. Note que as telas de tipo M podem contudo ser usadas para fotomicrografia e fotografia macro em ampliações de 1 : 1 ou superior.

Nota: *a F5 suporta fotometria matricial apenas com telas de focagem A, B, E, EC-B/EC-E, J e L.*

■ Cuidados com a lente

- Não levante ou segure a lente ou a câmera usando apenas o parassol da lente.
- Mantenha limpos os contatos CPU.
- Caso a gaxeta de borracha de fixação da lente seja danificada, interrompa imediatamente a utilização e leve a lente a uma assistência técnica autorizada Nikon para reparação.
- Use um soprador para remover poeira e sujidade das superfícies da lente. Para remover manchas e dedadas, aplique uma pequena quantidade de etanol ou de produto de limpeza de lente a um pano de algodão limpo, ou um lenço de papel de limpeza de lentes e limpe do centro para fora, num movimento circular, tendo o cuidado para não deixar manchas ou tocar no vidro com o seu dedo.
- Nunca use solventes orgânicos tais como tíner ou benzeno para limpar a lente.
- O parassol ou os filtros NC podem ser usados para proteger o elemento frontal da lente.
- Acople as tampas frontal e traseira antes de colocar a lente na sua bolsa flexível.
- Se a lente não vai ser usada por um longo período, guarde-a em um local fresco e seco para evitar mofo e ferrugem. Não guarde sob a luz solar direta nem sob bolas de naftalina e de cânfora.
- Mantenha a lente seca. O enferrujamento do mecanismo interno pode causar danos irreparáveis.
- Deixar a lente em locais extremamente quentes pode danificar ou deformar partes feitas de plástico reforçado.

■ Acessórios fornecidos

- Tampa frontal de encaixe da lente com 58 mm LC-58
- Tampa traseira da lente LF-4
- Parassol de baioneta HB-47
- Bolsa flexível da lente CL-1013

■ Acessórios compatíveis

- Filtros de rosca de 58 mm

■ Especificações

Tipo	Lente AF-S tipo G com CPU embutido e encaixe F
Distância focal	50 mm
Abertura máxima	f/1.8
Construção da lente	7 elementos em 6 grupos (incluindo 1 elemento de lente asférica)
Ângulo de visão	• Câmeras Nikon de filme SLR e D-SLR de formato FX: 47° • Câmeras Nikon D-SLR de formato DX: 31° 30′
Informação de distância	Saída para a câmera
Focagem	Foco automático controlado pelo Motor de Onda Silencioso (SWM) e anel de foco separado para o foco manual
Indicador de distância de foco	0,45 m a infinito (∞)
Distância mínima de foco	0,45 m a partir do plano focal
Lâminas de diafragma	7 (abertura circular do diafragma)
Diafragma	Completamente automático
Faixa de abertura	f/1.8 – 16
Fotometria	Abertura total
Tamanho da rosca do filtro	58 mm (P = 0,75 mm)
Dimensões	Aprox. 73 mm de diâmetro máximo × 52,5 mm (distância do flange de montagem da lente da câmera)
Peso	Aprox. 190 g

A Nikon reserva-se o direito de alterar as especificações do hardware descrito neste manual a qualquer momento e sem aviso prévio.

한국어

NIKKOR 렌즈를 구입해주셔서 감사합니다. 이 제품을 사용하기 전에 이 설명서와 카메라 설명서를 모두 주의 깊게 읽어주십시오.

주의: D7100이나 D5200 같은 DX 포맷 디지털 일안 리플렉스 카메라에 장착될 때, 이 렌즈는 31° 30′ 의 화각과 75mm(35mm 포맷)에 상응하는 초점 거리를 가집니다.

안전상의 주의 사항

사용하기 전에 '본 설명서'를 자세히 읽고 올바르게 사용하십시오. 이 '본 설명서'에는 제품을 안전하고 올바르게 사용하게 함으로써 부상 또는 재산 상의 손해를 사전에 방지하기 위한 중요한 내용이 기재되어 있습니다. 다 읽으신 후에서는 사용자가 언제나 쉽게 볼 수 있는 곳에 보관하여 주십시오.

표시 내용 관하여

각 표시의 의미는 다음과 같습니다.

⚠ 경고	이 표시를 무시하고 잘못된 방법으로 취급하시면 사망 또는 부상의 위험이 있는 내용을 표시하고 있습니다.
⚠ 주의	이 표시를 무시하고 잘못된 방법으로 취급하시면 부상을 입을 위험이 있는 내용 및 물적 손해가 발생할 위험이 있는 내용을 표시하고 있습니다.

준수해야 할 사항의 종류를 다음의 그림 표시로 구분하여 설명하고 있습니다.

그림 표시 예

△	△기호는 주의(경고 포함)를 알리는 표시입니다. 그림 내부, 또는 주변에 구체적인 주의 내용(화측 그림의 경우에는 감전 주의)이 표시되어 있습니다.
⃠	⃠기호는 금지(해서는 안 되는 행위) 행위를 알리는 표시입니다. 그림 내부, 또는 주변에 구체적인 금지 내용(좌측 그림의 경우에는 분해 금지)이 표시되어 있습니다.
●	●기호는 엄수 사항(반드시 준수해야 하는 사항)을 알리는 표시입니다. 그림 내부, 또는 주변에 구체적인 엄수사항(좌측 그림의 경우에는 건전지 분리)이 표시되어 있습니다.

⚠ 경고

⃠ 분해 금지	**분해하거나 수리·개조하지 마십시오.** 감전 혹은 상상 작동에 의한 부상의 원인이 됩니다.
⃠ 접촉 금지 즉시 수리	**낙하 등으로 인한 파손으로 내부가 노출된 경우에는 노출된 부분에 손을 대지 마십시오.** 감전되거나 파손된 부분에 의한 부상의 원인이 됩니다. 카메라 전지를 분리하고 판매점 또는 니콘 서비스 센터에 수리 요청을 하십시오.
! 의뢰를 하십시오.	
⃠ 전지를 분리하십시오.	**드거워지거나, 연기가 나거나, 타는 냄새가 나는 등의 이상 현상 발생에는 즉시 카메라 전지를 분리하십시오.** 그대로 계속 사용하시면 화재 및 화상의 원인이 됩니다. 전지를 분리할 때에는 화상을 입지 않도록 충분히 주의해 주십시오. 전지를 분리하고 니콘 고객만족 센터에 수리를 요청하십시오.
! 즉시 수리 요청을 하십시오.	
⃠ 액체접촉 금지	**물에 담그거나 물을 뿌리거나 비에 적시지 마십시오.** 발화 및 감전의 원인이 됩니다.
⃠ 사용 금지	**인화·폭발의 위험이 있는 장소에서는 사용하지 마십시오.** 프로판 가스·가솔린 등의 인화성 가스 또는 분진이 발생하는 장소에서 사용하면 폭발 또는 화재의 원인이 됩니다.
⃠ 사용 금지	**렌즈 또는 카메라로 직접 태양이나 강한 빛을 보지 마십시오.** 실명 또는 시력 장애의 원인이 됩니다.

⚠ 주의

⚠ 감전 주의	**젖은 손으로 만지지 마십시오.** 감전의 원인이 될 수 있습니다.
⚠ 보관 주의	**제품은 유아의 손이 닿지 않는 곳에 두십시오.** 부상의 원인이 될 수 있습니다.
⚠ 사용 주의	**역광 촬영의 경우에는 태양이 화각에서 충분히 벗어나게 하십시오.** 태양이 카메라 내부에서 초점을 형성하여 화재의 원인이 될 수 있습니다. 화각으로부터 태양을 살짝 벗어나게 하더라도 화재의 원인이 될 수 있습니다.
⚠ 보관 주의	**사용하지 않을 경우에는 렌즈에 캡을 씌우거나 태양광이 닿지 않는 장소에 보관하십시오.** 태양광이 초점을 형성하여 화재의 원인이 될 수 있습니다.
⚠ 이동 주의	**삼각대에 카메라 또는 렌즈를 장착한 상태로 이동하지 마십시오.** 넘어지거나 부딪혀서 부상의 원인이 될 수 있습니다.
⃠ 방치금지	**장문을 완전히 닫은 자동차 실내 또는 직사광선이 닿는 장소 등, 온도가 매우 높아지는 장소에 방치하지 마십시오.** 내부 부품에 나쁜 영향을 미치며, 화재의 원인이 될 수 있습니다.

■ 렌즈의 부품(그림)

① 렌즈 후드
② 렌즈 후드 잠금 마크
③ 렌즈 후드 정렬 마크
④ 렌즈 후드 장착 마크
⑤ 초점 링
⑥ 초점 거리 표시
⑦ 초점 거리 마크
⑧ 렌즈 장착 마크
⑨ 렌즈 장착 고무 가스켓
⑩ CPU 접촉부
⑪ 초점 모드 스위치

■ 호환성

제품 표시(“✔”)는 지원되는 기능을, 대시(“—”)는 지원되지 않는 기능을 나타냅니다. 일부 제한이 적용될 수 있습니다. 자세한 내용은 카메라 설명서를 참조하십시오.

카메라	노출(촬영) 모드				
	P[2]	S	A	M	AF[3]
Nikon FX 포맷 및 DX 포맷 디지털 일안 리플렉스 카메라	✔	✔	✔	✔	✔
F6, F5, F100, F80–시리즈, F75–시리즈, F65–시리즈, 프로네아 600i, 프로네아 S[1]	✔	✔	✔	✔	✔
F4–시리즈, F90X, F90–시리즈, F70–시리즈	✔	✔	—	—	✔
F60–시리즈, F55–시리즈, F50–시리즈, F–401x, F–401s, F–401	✔	✔	✔	✔	—
F–801s, F–801, F–601M	✔	✔	—	—	—
F3AF, F–601, F–501, Nikon 수동 초점 카메라(F–601M 제외)	—				

1 노출 모드 M (수동) 이용 불가.
2 자동 및 장면(디지털 이미지 프로그램) 모드 포함.
3 자동 초점.

■ 초점

지원되는 초점 모드는 다음 표에 기재되어 있습니다(카메라 초점 모드에 관한 내용은 카메라 설명서 참조).

카메라	카메라 초점 모드	렌즈 초점 모드	
		M/A	M
Nikon FX 포맷 및 DX 포맷 디지털 일안 리플렉스 카메라, F6, F5, F4–시리즈, F100, F90X, F90–시리즈, F80–시리즈, F75–시리즈, F70–시리즈, F65–시리즈, 프로네아 600i, 프로네아 S	AF	자동 초점에서 수동 조정	초점 에이드를 사용한 수동 초점
F60–시리즈, F55–시리즈, F50–시리즈, F–801s, F–801, F–601M, F–401x, F–401s, F–401	MF	수동 초점 (F–601M을 제외한 모든 카메라에서 초점 에이드 사용가능)	
	AF, MF		

M/A(자동 초점에서 수동 조정)
자동 초점에서 수동 조정(M/A)을 사용하여 초점을 맞추려면:

1. **렌즈 초점 모드 스위치를 M/A로 설정합니다.**
2. **초점을 맞춥니다.**
   원할 경우, 셔터 버튼을 반누름한 상태에서(또는, 카메라에 **AF-ON** 버튼이 있는 경우 **AF-ON** 버튼을 누른 상태에서) 렌즈 초점 링을 돌려 자동 초점이 설정되지 않도록 할 수 있습니다. 자동 초점을 사용하여 다시 초점을 맞추려면 셔터 버튼을 반누름하거나 **AF-ON** 버튼을 다시 누릅니다.

■ 피사계 심도

렌즈의 피사계 심도 표시는 대략적 피사계 심도를 보여줍니다. 카메라가 심도 프리뷰(스톱다운)를 제공하면, 뷰파인더에서도 피사계 심도를 미리 볼 수 있습니다. 자세한 내용은 피사계 심도 표를 참조하십시오.

ft 7 4 2 m ∞ 1.5 0 16 • 8 • 16	
피사계 심도 표시	*초점 거리 마크*

■ 조리개

조리개는 카메라 컨트롤을 사용하여 조정합니다.

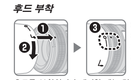
■ 내장 플래시

플래시가 내장된 카메라에서 내장 플래시를 사용할 경우에는 비네팅(렌즈의 끝부분이 내장 플래시를 가려 그림자가 생기는 현상)을 방지하기 위해 0.6m 이상의 범위에서 촬영하고 렌즈 후드를 벗기십시오.

■ 렌즈 후드

렌즈 후드는 렌즈를 보호하고 플레어 또는 고스트 현상을 초래할 우려가 있는 미광을 차단합니다.

후드 부착



렌즈 후드 장착 마크(●)를 렌즈 후드 정렬 마크(┌─)와 일치시킨 다음 ● 마크가 렌즈 후드 잠금 마크(└─○)와 일치될 때까지 후드(❷)를 돌립니다.

후드를 부착하거나 제거할 때는 일 부분의 ┌─ 기호 부근을 잡고 너무 꽉 쥐지 않도록 합니다. 후드가 올바르게 부착되지 않으면 비네팅이 생길 수 있습니다.

후드를 사용하지 않을 때는 렌즈에 거꾸로 장착할 수 있습니다.

■ 파인더 스크린

다음 카메라는 다양한 상황에서 사용할 수 있는 여러 가지 파인더 스크린을 지원합니다.

카메라 \ 스크린	A	B	C	E	EC–B EC–E	G1	G2	G3	G4	J	L	M	U
F6	●	●	—	●	—	—	—	—	—	●	●		●
F5+DP–30	●	●		●			●			●	●		●
F5+DA–30	●	●		●			●(+0.5)			●	●		●

●: 권장.
○: 뷰파인더에 비네팅이 나타남(사진에는 영향을 주지 않습니다).
—: 카메라와 호환되지 않음.
(